

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援 ☆(すたあと)

公表日 2025年1月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・物の配置に考慮し、活動スペースを十分に確保している	・引き続き十分なスペースを確保する
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・職員の配置基準は満たしており、保育士、児童指導員を始め、有資格者を配置している	・新入職員の有資格はもちろん、他資格を取得しスキルアップに繋げる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・施設内は段差は無く、バリアフリーの環境が整備できている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・活動で使用した物は、必ずアルコール除菌を行っている ・隅々まで掃除、整理整頓を行っている	・引き続き清潔な環境を維持するために、アルコール除菌や掃除、整理整頓を行う
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・気持ちの切り替えが難しいお子様にクールダウンを行う等、必要に応じて個別対応室を使用している	・引き続き、臨機応変に対応を行う
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		・年2回(4月、10月)必ず人事考課を実施している	・人事考課を行った後に従業員個々の取り組みや意識が必要。働きやすい環境を整えて行く事が重要だと思う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・保護者様からの意見を基にミーティングを行い、業務改善に努めている	・引き続きミーティング等、情報共有や意見交換を行う
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・定期的にミーティングを行っている	・引き続きミーティング等、情報共有や意見交換を行う
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	・現在、第三者による外部評価を行っていない	・今後必要に応じて第三者による外部評価を取り入れる
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・定期的に社内研修を開催したり、外部研修を受講できる環境を整えている	・積極的に今後も職員が研修が受講できる環境に努めていく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・保護者様との連携アプリでプログラムの公表を行っている ・HPでも公表している	・SNSでも投稿を行い、更に多くの保護者様に知って頂く
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・基本的には6ヶ月に1回見直しを行い、必要に応じて1ヶ月や3ヶ月で見直しを行っている	・引き続き必要に応じて、アセスメントや見直しを行っていく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・児童発達支援管理責任者を中心に支援者会議を開き、共通理解の下で支援計画を作成している	・会議に参加出来るのはその日に出勤している職員のみなので、後で共有できるように見やすい会議録や申し送りを行う
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・専用ソフトで職員全員が支援計画を閲覧できる	・引き続き、専用ソフトにて更新を行い、職員が閲覧できる環境を整える
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・保護者や関係機関からの引き継ぎを行いアセスメントを行っている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・個々がプログラムを立案した上で、ミーティングを行い決めている	・プログラムの立案には職員により得意・不得意の偏りが出る可能性がある為、複数人で行う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・5領域を取り入れ、曜日固定にならないように振り分けている	・5領域のみではなく、イベントや様々な活動を取り入れる

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・アセスメントや日々の様子に基づき個別活動と集団活動を適宜組み合わせる、児童発達支援計画を作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・支援開始前に1日の流れや役割分担を確認し共有している	・引き続き、事前に職員間で共有や役割分担を行い、意見交換の中でより良い支援に努める
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・その日の振り返りを行い、課題や改善点を意見交換している	・終礼や定例会議等、習慣を付けていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・記録は随時とるように心がけている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・基本的には6ヶ月に1回見直しを行い、必要に応じて1ヶ月や3ヶ月で見直しを行っている	・今後も必要に応じて変更を行っていく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	3	・まだ障害児相談事業所のサービス担当者会議を行った事例がない	・サービス担当者会議が開かれる場合は児童発達管理責任者が参加する
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・保健所、協力医療機関や利用児童が通う保育園と連携を取っている	・こまめな情報共有を行い、各機関と連携を図ることで支援の質が高まる
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・保育園との併行利用など、連携を図り支援を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	6	・まだ就学時に移行する児童がいない	・今後、移行する際にスムーズな引き継ぎができるように職員間で情報共有を行う
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	7	・連携を図る機会が無かった	・今後は挨拶に何う等、連携を図っていきたいと思っている
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8	・他の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流は行っていない	・今後検討していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・連絡帳やLINE、電話、直接お話をさせて頂き、共通理解を得ている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	・必要に応じて面談や相談の中で、助言や支援を行っている		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・丁寧な説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		・児童発達支援計画の支援内容を説明し、同意の署名を得ている	・児発管、管理者によって保護者様からの質問に対し理解をして頂き同意を得ている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・相談がある時は電話やLINEで対応し、必要に応じて面談を行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	・現状出来ていなかった	・今後、交流する機会を検討していく
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	・事業所に苦情受付窓口を設置している ・ご意見や相談に関しては迅速に対応している	・相談や申し入れについては相談内容に応じて児発管・管理者が対応している
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	・専用ソフトやSNSで活動内容の様子を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	・契約時に同意を得た上で、個人情報使用同意書に署名を頂き、施錠のできる書庫で保管をし取扱いには十分留意している	・個人ファイルは鍵付きの書庫へ保管している ・個人情報の問い合わせについては関係者以外には絶対に伝えない
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	・絵カードや写真等の視覚を利用して情報伝達を行っている ・連絡帳やLINEを使用している	・視覚的援助（絵カードや写真）を利用している
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	・限られた利用時間の中では実施難しく、そのような機械は設けていない	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	・年間スケジュールを立て、定期的に研修、訓練を行っている	・必要に応じてマニュアルの配布を行う
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	・業務継続計画（BCP）を策定し、研修と避難訓練を定期的に行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	・服薬がある場合は、投薬依頼書を記入して頂き、確認を行った上で服薬をしている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	・現在食物アレルギーを持つ利用児童がいない ・アレルギーは専用ソフトで閲覧可能	・保護者様と定期的にアレルギーの現状を把握していく必要がある
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	・日頃から安全管理に配慮し、支援を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	・些細なことでも毎日必ずヒヤリハットを日々の日報に記入し、周知した上で再発防止に取り組んでいる	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	・定期的に虐待防止研修を実施している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	・契約時に必ず説明を行い、同意を得ている ・現在は対象児童はいない		